

だんのくらしをしあわせに

「社協」は、社会福祉協議会の略称です

しばた社協だより

薬の受け取り



簡単な外作業



ゴミ捨て



話し相手



買い物代行



掃除

生活応援団!

～市民のチカラが地域をつくる～

介護が必要になっても認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、ちょっとした困りごとを地域で支える仕組みが必要です。「生活応援団」は、活動を提供する会員が少しの活動謝礼をいただいて、自分ができる範囲の「ちょっとした困りごと」をお手伝いする住民参加型の在宅福祉サービスです。

住民参加型在宅福祉サービス

活動内容：誰にでもできるちょっとしたことのお手伝い
年会費：500円（年間登録料）
活動謝礼：1時間あたり500円
専門的な技術や知識は必要ありません。
お気軽にお問い合わせください！

利用について

- ・高齢や障がい、ひとり親世帯などで福祉の手を必要としている方
- ・月曜日～金曜日の午前8時30分～午後5時30分
- ・土・日・祝日、年末年始は活動しません。
- ・年会費500円 活動1時間あたり550円

問い合わせ先：新発田市社会福祉協議会 地域福祉課 TEL23-1000

ボランティアだより

わ
広げよう！ボランティアの

新発田市ボランティア連絡協議会登録団体

新発田市消費者協会

の活動を紹介します！！



～「新発田市消費者協会」の成り立ちについて～

昭和42年に設立した新潟県消費者協会が50周年を迎える年に、県内17番目の消費者協会として、新発田市消費者協会が設立されました。県内で人口が多い新発田にも消費者協会を設立することで、多岐に渡る消費者問題をあらゆる世代の方々に知ってもらうことを目的に、地域に根ざした特色ある活動を行っています。



～活動内容について～

★消費者への被害防止啓発活動

- ①高齢者の見守り
→食品ロスや運転免許証自主返納などのアンケート調査を実施
- ②障害者・子どもへのサポート
→毎月1回子ども食堂で消費関連の絵本の読み聞かせ

★地域にやさしい環境への取り組み

- ①食品ロス（食材を買い過ぎず、使い切る、食べきる）をなくす
- ②3R（スリーアール）の取り組み
Reduce（リデュース）ものを大切に使い、ごみそのものを減らす
Reuse（リユース）使えるものは、何回でも繰り返し使う
Recycle（リサイクル）ごみを分別して再び資源として利用する

安心・安全な社会をめざし、出来ることから取り組んでいます。啓発講座については、絵を使ったり大きいマイクを作って面白さを交えたりと、誰もが分かりやすく興味を持ってもらえるような工夫を加えています。地域や各団体様への派遣講座も可能ですので、お気軽にお問い合わせください！



～ 出前講座のご案内 ～

消費生活サポーターによる消費生活に関する被害防止のための啓発活動を行っています。

- 出前講座は原則無料です。
- 会場は主催者側でご負担ください。
- 土日・祝日もOKです。
- 10人以上集まればOKです。

只今会員募集中！！！！

～問い合わせ先～

《新発田市消費者協会》
ヨリネスしばた1階
市民相談センター・消費相談センター内
祝日を除く 月曜～金曜/午前9時～午後4時
TEL 28-9110/担当杉原・井畑

問い合わせ先 社会福祉法人 新発田市社会福祉協議会

〒957-0054 新発田市本町4-16-83
TEL 23-1000 FAX 26-3300 (ボランティアセンター内)
(土・日・祝日を除く)

ホームページ <http://www.shibata-shakyo.or.jp>
社協だより(PC版)がご覧になれます





あいさつ運動の様子

新発田市民生委員児童委員連合会事務局
(新発田市ポフンティアセンター内)
TEL 23-11000

新発田市民生委員児童委員連合会事務局は、地域住民である皆さんと同じ立場で相談にのり、関係機関へつなぐ役割を果たします。民生委員活動の更なる普及啓発を目指し、出前講座を実施します。左記事務局までお気軽にご相談ください。

5月12日は 民生委員の日です!

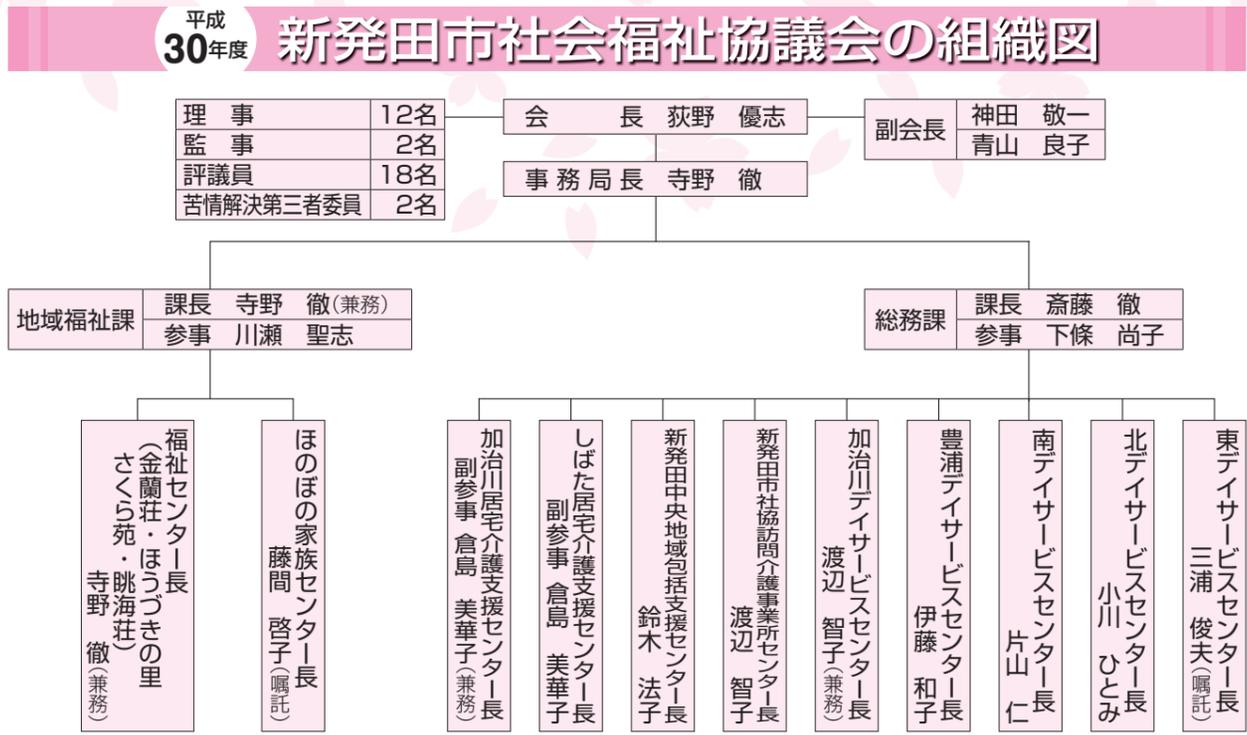
ご存じですか? 民生委員・児童委員

皆さんがお住まいの地域に、民生委員・児童委員と呼ばれる方がいるのをご存じですか。高齢者や障害のある方、子育てや介護をしている方などが、周囲に相談できず孤立してしまうケースが増えています。そこで、地域の身近な相談相手として、必要な支援を行うのが「民生委員・児童委員」の存在です。誰もが安心して暮らせる地域づくりのために、様々な活動をしている「民生委員・児童委員」についてぜひ知っていただき、活動へのご理解とご協力をお願いします。

どんな活動をしているの?

民生委員・児童委員は地域の「民生委員児童委員協議会」に所属し、地域の実情に合わせて福祉に関する幅広い活動を行っています。また、民生委員・児童委員の中から児童福祉に関する事項を専門に担当する主任児童委員がいます。

民生委員・児童委員、主任児童委員は、地域住民である皆さんと同じ立場で相談にのり、関係機関へつなぐ役割を果たします。民生委員活動の更なる普及啓発を目指し、出前講座を実施します。左記事務局までお気軽にご相談ください。



平成30年度新発田市社会福祉協議会長表彰 表彰者の推薦について

社会福祉協議会では、社会福祉やボランティアの向上に尽くされた方への表彰として、下記表彰区分による推薦を受付しております。

- 推薦受付期間 平成30年5月10日(木)まで
- 表彰区分 【個人】市内において社会福祉事業・ボランティア活動に特に功労のあった個人
ア) 団体に所属せず1年以上継続して活動しており現在も功績が顕著な方
イ) 団体に所属しながら10年以上継続して活動しており現在も活動が顕著な方
- 推薦方法 推薦書を新発田市社会福祉協議会総務課へ提出してください。推薦書及び要項は社会福祉協議会事務局にあります。ホームページからもダウンロードもできます。http://www.shibata-shakyo.or.jp

赤十字救急法講習会

ケガや病気、災害から自分自身を守り、けが人や病人を正しく救助し、医師や救急隊員の手に渡すまでの正しい知識、技術を学びます。

救急法基礎講習会
○日時 5月13日(日) 午後1時～午後5時
○受講料 1500円(テキスト代)

救急員養成講習会
○日時 5月17日～6月28日までの毎週木曜日午後7時～午後9時
7月1日(日)の午前9時～午後3時(計8回)
○受講料 3200円(テキスト代)、82円切手を貼った封筒(修了証送付用)
○対象 満15歳以上の方
救急員資格継続講習会
○日時 5月13日(日) 午前9時～午後2時
○受講料 800円、82円切手を貼った封筒

各講習会の携行品
動きやすい服装、筆記用具

各講習会の申込締切
5月1日(火)

各種講習会申し込み先
新発田市社会福祉協議会 地域福祉課
TEL 23-11000

◎善意の寄付◎ 平成30年1～2月(敬称略・順不同)

一般寄付	
成田正美	90,592円
匿名	10,000円
寄付物品	
(一財)信越郵便局長協会	アームチェア2脚
音声パソコンフィンゲル	書き損じハガキ
クサカベモーターズ	タオル
高橋好枝	タオル、Tシャツ
佐藤梨絵	シルバーカー、オムツ
アルミ缶	
川東中学校	12,050円

不用入れ歯回収(平成29年度)
12,050円

ご協力ありがとうございました

給食サービス事業利用協力金の変更について

平成30年4月より給食サービス事業の1食あたりの利用協力金が増額となりました。

従来 **300円** → **400円**

給食サービスは介護認定を受けていない70才以上の一人暮らしの方等に週1回お弁当お届けし安否確認を行う事業です。

利用を希望される方は新発田市社会福祉協議会 地域福祉課までお問い合わせください。

“困ったときはお互いさま”講座

新発田市を住みよいまちにする仕組みを学びます

日時: 平成30年5月15日(火) 午後1時～午後4時
内容: (第一部) 午後1時～午後2時
「住民参加型在宅福祉サービス」とは、「生活応援団」概要説明
(第二部) 午後2時～午後4時
講演会(他団体の活動報告)、提供会員との交流会
※どちらかみの参加も可能です。

申込締切: 平成30年5月11日(金)

事務局でサポートします

提供会員募集

各記事に関する申し込み先は・・・新発田市社会福祉協議会 TEL 23-1000

しばた社協だよりは皆さまからいただいた「赤い羽根共同募金」の配分金と社協会費で発行されています。